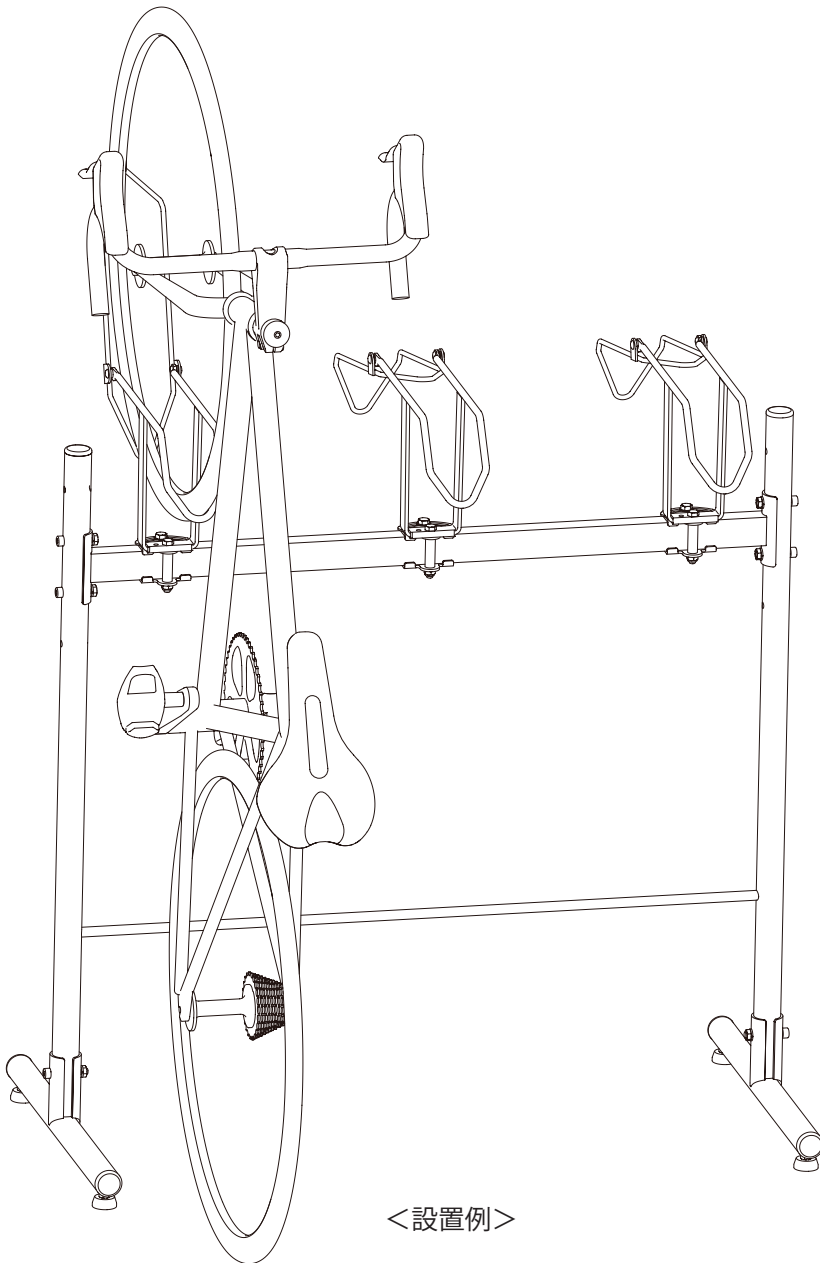


製品保証期間：1年間

内容の詳細については添付の「製品保証規定」カードをお読みください。
また最新の情報については弊社ウェブサイトをご参照ください。

注意していただきたいこと



<設置例>

- DS-4200 は通常サイズの2輪自転車専用です。ホイールベースが通常ではないタンデム車やロングテール車、また小径車には不適です。
- 前輪を受けるクレードルの高さは、土台となる横フレームの取り付け位置を変えることで3段階に調節できますが、構造上すべてのクレードルは同じ高さにはなりません。そのためホイールベースの異なる自転車を混在させようとするとそれぞれの立ち角度は異なってきてしまいます。特にホイールベースの短いものは直立に近くなりますので、たとえば MTB と BMX との混載などはできかねます。必ず後輪が床面に接するようにして、宙吊りにならないようにしてください。
- クレードルの内幅は 66mm です。それ以上太いタイヤでは使用できません。ロードなど細いタイヤはクレードルの3点支持によって保持されますが、クレードルの横枠で支えられているわけではないため、自転車が押されると傾いたりする場合があります。
- 自転車は、前輪がクレードルに収められ後輪が床に接した姿勢でしか搭載できません。逆向き（前輪が下）は、自重でハンドルが切れ込んでしまうためうまく保持されず脱落してしまいます。
- 前輪に泥除けが装着されている自転車の場合、クレードルと泥除けとが干渉してしまい使用できなくなる場合があります。
- 下側の細い丸パイプは後輪がそれ以上奥に行かないようにするためのガードです。このパイプは支柱に固定されるわけではなく支柱にあいている孔に差し込まれるだけです。そのため左右の支柱は向きが指定される（ガードパイプ用の孔が内側にあること）ことを理解して組み立ててください。
- 転倒のおそれがありますので、傾斜地には設置しないでください。緩いスロープ程度なら、四隅のアジャスタを調整することで、がたつきなく直立させることができますが、推奨はしません。
- クレードルをオプションで追加し対面に自転車が来るように増設することで、最大5台まで同時に搭載することができます。

問い合わせ先

何かわからないことがあった場合は、まずお買い求めになった販売店にお問い合わせください。もしそこで十分な情報やサービスを受けられない場合に限り、下記までお問い合わせください。

株式会社 箕浦

〒 503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1

Phone: (0584) 27-3131

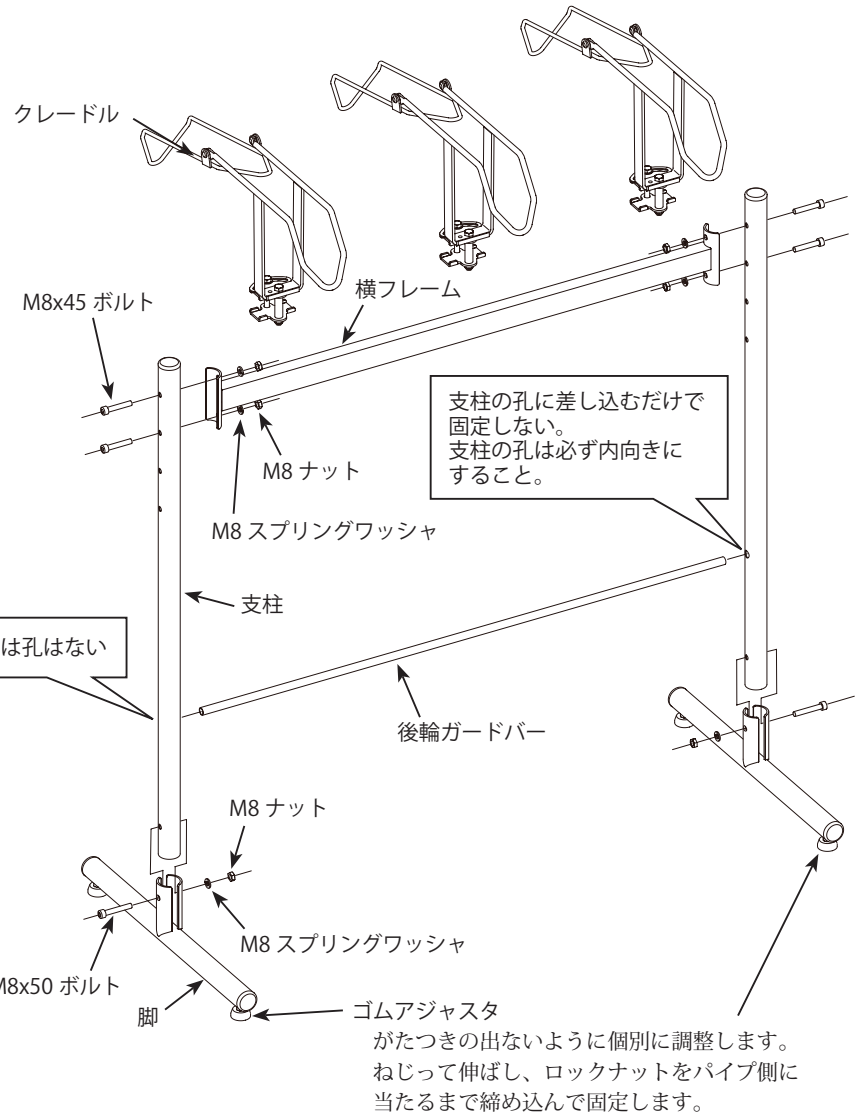
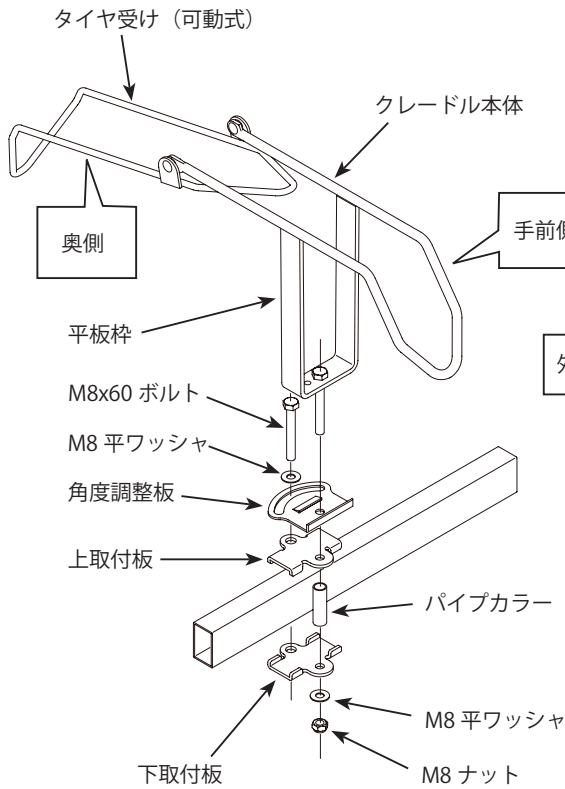
Fax: (0584) 27-7505

Mail: minoura@minoura.jp (営業) / infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス)

Web: www.minoura.jp

部品セット

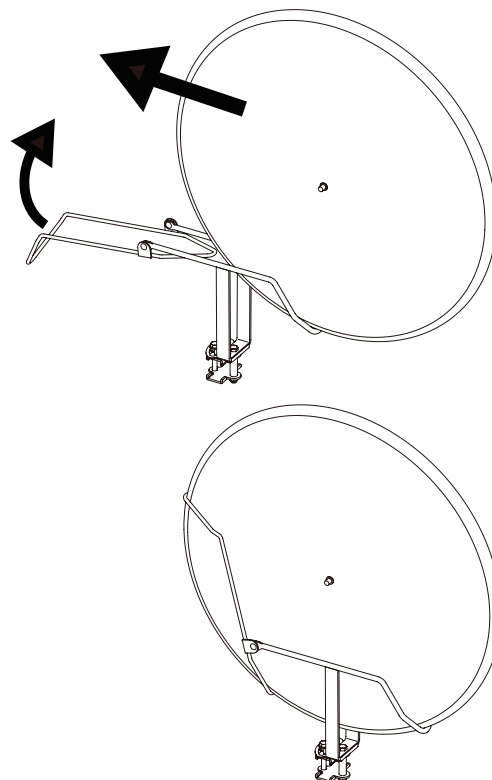
キャップボルト M8x45	... 4 枚
キャップボルト M8x50	... 2 枚
M8 ナット	... 6 枚
M8 スプリングワッシャ	... 6 枚



クレードルの取り付け方

- 1 まず仮組みしてあるクレードルを分解します。
- 2 上下の取付板で横フレームを挟み込み、角度調整板を重ね、平ワッシャを通した M8x60 六角ボルトを軽くねじ込んで仮止めます。
- 3 クレードル本体に溶接されたボルトを、上側取付板～パイプカラー～下側取付板～平ワッシャを通してから、ナットにねじ込みます。
- 4 上下の取付板が平行で横フレームに面で密着していること、クレードルの平板枠が上取付板の折り曲げ部に乗り上がりずに密着していることを確認してから、M8x60 ボルトと M8 ナットを締め込みます。
- 5 クレードルを左右に振ることで自転車の DS-4200 に対する角度を変えることができます。浅い角度にすることで全体の設置面積の前後幅を短くして全体的な接地面積を小さくすることができます。角度を決めてから、ボルトとナットとを均等に締め込んで固定します。再び角度を変えるにはナットを少し緩めてから行ないます。

タイヤ受けの使い方



まずクレードルの手前側にタイヤを載せ、そのまま前に転がすようにして枠内に収めていきます。途中からタイヤ受けがタイヤに合わせてその角度を変えて持ち上がっていき、最終的に3点で車輪を支えます。



クレードルの内幅は66mmです。それ以上広いタイヤは収まりません。ファットバイクには使用できません。